



## 佐賀県高等学校教諭と佐賀大学の物理学教員の交流会を開催

### 【概要】

令和3年8月18日（水）に理工学部物理学部門において、第9回佐賀県高等学校教諭と佐賀大学の物理学教員の交流会がオンラインにて開催されました。

### 【本文】

令和3年8月18日（水）に理工学部物理学部門において、オンライン会議システム WebEx を用いて、第9回佐賀県高等学校教諭と佐賀大学の物理学教員の交流会が開催されました。折しも先日の大雨の影響もあり心配がなされましたが、当日は高等学校から8名、大学から9名、総勢17名の参加がありました。

本交流会は、佐賀県内の高等学校で物理を担当されている先生方と、佐賀大学の物理学教員との相互交流を通じて物理教育を考える場として、これまで8回にわたって開催されてきました。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、今年度はオンライン形式の開催が提案され、検討を重ねた結果、実施の運びとなりました。

当日は、参加者の自己紹介の後、理工学部物理学コース長 河野 宏明 教授により、令和3年度佐賀大学入学試験（物理）の分析に関する講演が、スライド資料を用いて行われ、講演後には質疑応答がなされました。また、来年度の入試制度の内容についての確認がありました。その後、事前に準備していた高校・大学双方からの質問事項に基づいて、現在の高校と大学における物理教育の現状に関する自由討論が行われ、活発な議論がなされました。

開催終了後に、参加者から、各自が抱えている教育に関する問題や悩みを共有し、今後の物理教育を考える非常に良い機会になったとのご意見をいただきました。また交流会をオンラインで開催するという、新たな試みに対するご意見もいただきました。

来年度から新学習指導要領が導入され、このような高大接続の機会は益々重要になると考えられます。未来を育む子供たちの教育を向上させるために、今後も交流会を続けていけるよう努力していきたいと思っております。